

平成27年度事業報告

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

平成27年度事業報告

支部協会並びに関係諸団体・組織との連携と協力のもと、ウエイトリフティング競技の発展と普及を図るために次の各種事業を行った。

第31回オリンピック競技大会（2016/リオデジャネイロ）でのメダル獲得と入賞を目標に2016年オリンピック特別対策強化戦略プランを基に、JISSのトータルサポート及び日本スポーツ振興センターのマルチサポートの協力も得ながら、国内外合宿等で選手強化を進めた。世界選手権大会では、女子は48kg級三宅宏実選手が第3位に58kg級安藤美希子選手が第8位に入賞し、リオデジャネイロオリンピック予選暫定順位も4名枠の第9位に位置することができたが、男子は失格選手があったことから同予選暫定順位も3名枠が得られる第24位と1点差の第25位にとどまった。

第32回オリンピック競技大会（2020/東京）対策として2020年ターゲットエイジ育成・強化事業を実施し、各種大会でのジュニア・大学・高校新記録の樹立やジュニア世界選手権大会・アジア選手権大会でのメダル獲得等の成果を収めた。

オリンピック競技大会で活躍できる選手の恒久的育成を目標に、ナショナルトレーニングシステム（競技者育成プログラム）に基づいて、JOC・JADA・JISSの協力を得て、ジュニア研修合宿を実施した。ナショナルトレーニングシステムについては、年令区分の見直しと指導教本の改訂等を行ってその充実を図った。

女子種別が平成27年度JSCマルチサポート（トレーナー配置）の支援を受け成果をあげる一助となった。

平成27年4月1日に、公益社団法人としての認定を受け登記等の手続きを完了し、公益法人として、ガバナンスの確保、コンプライアンスの遵守に努めた。

I. 競技力向上事業

1. 選手強化事業

(1) 国内合宿

リオデジャネイロオリンピック競技大会に向け、ナショナル選手を対象とした強化合宿を（公財）日本オリンピック委員会の補助事業として、強化拠点である「味の素ナショナルトレーニングセンター専用練習場」を中心に事業を推進した。

No.	合 宿 名	指導者数	選手数	期 間	場 所
1	国内合宿 1 (4月通年合宿・男女)	3名	3名	4/01～4/30	東京都 NTC
2	国内合宿 2 (ナショナル合宿・男子)	5名	7名	4/06～4/25	東京都 NTC
3	国内合宿 3 (ナショナル合宿・女子)	1名	5名	4/27～5/12	福島県 郡山市
4	国内合宿 4 (5月通年合宿・男女)	4名	3名	5/01～5/31	東京都 NTC
5	国内合宿 5 (ナショナル合宿・男子)	4名	7名	5/06～5/23	東京都 NTC
6	国内合宿 6 (6月通年合宿・女)	2名	1名	6/01～6/30	東京都 NTC
7	国内合宿 7 (ナショナル合宿・男子)	3名	5名	6/01～6/11	東京都 NTC
8	国内合宿 8 (ナショナル合宿・女子)	3名	4名	6/14～6/26	福島県 郡山市
9	国内合宿 9 (7月通年合宿・男女)	3名	3名	7/01～7/31	新潟県 津南町
10	国内合宿 10 (ナショナル合宿・男子)	6名	7名	7/06～7/25	東京都 NTC
11	国内合宿 11 (7月通年合宿・男女)	7名	4名	7/01～7/31	東京都 NTC
12	国内合宿 12 (ナショナル合宿・女子)	4名	7名	7/15～7/30	新潟県 津南町
13	国内合宿 13 (8月通年合宿・男女)	3名	3名	8/01～8/31	東京都 NTC
14	国内合宿 14 (世界選手権候補合宿・男子)	5名	7名	8/01～8/13	新潟県 津南町
15	国内合宿 15 (世界選手権候補合宿・女子)	2名	8名	8/07～8/19	高知県 高知市
16	国内合宿 16 (世界選手権候補合宿・男子)	5名	8名	8/24～9/05	北海道 士別市
17	国内合宿 17 (9月通年合宿・男女)	3名	3名	9/01～9/30	東京都 NTC
18	国内合宿 18 (世界選手権候補合宿・男子)	6名	10名	9/09～9/20	東京都 NTC
19	国内合宿 19 (世界選手権候補合宿・女子)	3名	9名	9/10～9/23	東京都 NTC
20	国内合宿 20 (10月通年合宿・男女)	4名	9名	10/01～10/31	東京都 NTC
21	国内合宿 21 (世界選手権代表合宿・女子)	2名	8名	10/04～10/14	福島県 郡山市
22	国内合宿 22 (世界選手権代表合宿・男子)	4名	7名	10/05～10/17	東京都 NTC
23	国内合宿 23 (世界選手権代表合宿・女子)	6名	9名	10/26～11/17	東京都 NTC
24	国内合宿 24 (世界選手権代表合宿・男子)	6名	8名	10/26～11/19	東京都 NTC
25	国内合宿 25 (12月通年合宿・男女)	2名	2名	12/01～12/31	東京都 NTC
26	国内合宿 26 (1月通年合宿・男女)	2名	3名	1/01～01/31	東京都 NTC
27	国内合宿 27 (リオオリンピック候補合宿・男子)	5名	11名	1/10～01/30	東京都 NTC
28	国内合宿 28 (リオオリンピック候補合宿・女子)	2名	5名	1/10～1/24	高知県 高知市
29	国内合宿 29 (2月通年合宿・男女)	2名	4名	2/01～2/29	東京都 NTC
30	国内合宿 30 (リオオリンピック候補合宿・男子)	8名	12名	2/08～2/27	東京都 NTC
31	国内合宿 31 (3月通年合宿・男女)	5名	12名	3/01～3/31	東京都 NTC
32	国内合宿 32 (リオオリンピック候補合宿・女子)	3名	6名	3/06～3/18	沖縄県 国頭村
33	国内合宿 33 (リオオリンピック候補合宿・男子)	4名	9名	3/06～3/17	福島県 郡山市
34	国内合宿 34 (リオオリンピック候補合宿・男子)	4名	9名	3/17～3/24	東京都 NTC

(2) 海外合宿

- ・ 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、国際力（国際人の養成）の強化も目的の一つとして、大学生を対象に次のとおり実施した。

合宿名 : 海外合宿 (1)
期 間 : 平成28年2月6日～2月29日
場 所 : アメリカ合衆国ルイジアナ州立大学シュリーブポート校
指 導 者 : 2名 (加藤智子、金城政博)
参 加 者 : 6名 (中山桃花、植松 瞳、森下伊万里、藤本雅大、勅使瓦輝、三谷勇汰)
内 容 : 英会話 (150分/計12回)
トレーニング方法論、技術論を学習し、各自で自身のプログラムを作成し、それに基づきトレーニングを行った。

- ・ 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、リオデジャネイロオリンピックに向けて女子ナショナル選手を対象に次のとおり実施した。

合宿名 : 海外合宿 (2)
期 間 : 平成28年2月5日～2月21日
場 所 : アメリカ合衆国グアム
指 導 者 : 1名 (三宅義行) 帯同トレーナー (市來未央)
参 加 者 : 5名 (三宅宏実、水落穂南、八木かなえ、安藤美希子、松本潮霞)
内 容 : 総合的体力強化 (筋肥大) ・ 補助種目の記録向上を主目的に実施した。

(3) 外国チームとの合同合宿

- ・ 公益財団法人日本オリンピック委員会及び韓国・国民生活体育会との共催事業であり、次代を担う若手選手の育成と国際交流の促進を目的に、公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、次のとおり実施した。

合宿名 : 日韓競技力向上スポーツ交流事業 (派遣)
期 間 : 平成27年11月3日～11月8日
場 所 : 大韓民国慶尚南道固城郡 固城郡力道競技場
指 導 者 : 5名 (JOC強化スタッフ)
参 加 者 : 15名 (男子8名「大学生1名、敵性7名」、女子7名「大学生2名、敵性5名」)
15名 (韓国チーム)
内 容 : 韓国ジュニアチーム監督の作成したトレーニングメニューにより実施。

合宿名 : 日韓競技力向上スポーツ交流事業 (受入)
期 間 : 平成27年12月1日～12月6日
場 所 : 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター
指 導 者 : 日本 5名 (JOC強化スタッフ)
韓国 5名
参 加 者 : 日本 15名 (男子8名「敵性8名」、女子7名「大学生1名、敵性6名」)
韓国 15名 (男子8名、女子7名)
内 容 : 日本ナショナルチーム監督の作成したトレーニングメニューにより実施。

(4) 国際競技会への派遣

- ・ 国際競技力の評価は、国際競技会での成績が中心となる。本会は、恒久的オリンピック選手育成の観点（現在及び将来国際大会で活躍が期待される者並びに一定レベルの競技力を有する）から選手選考し派遣した。

日韓中ジュニア交流競技会については日本体育協会の直轄事業として実施した。

①日韓中大会

会 期 : 平成27年6月10日～6月11日
場 所 : 韓国慶尚南道固城郡固城邑

【団体成績】

第1位：韓国、第2位：日本、第3位：中国

「男子」

階級	1位(国名・選手名)	2位(国名・選手名)	3位(国名・選手名)
56kg	241 (KOR・GO SUKKYO)	219 (JPN・井出 真輝)	
62kg	270 (CHN・ZHANG JIAN)	257 (KOR・LEE HYESEONG)	219 (JPN・幸地 祥太)
69kg	303 (CHN・ZHANG WENBIN)	290 (KOR・JUNG CHANGHO)	失格 (JPN・篠原 航平)
77kg	332 (CHN・MO CHANGWANG)	326 (KOR・KIM SUNBAE)	278 (JPN・会津 圭吾)
85kg	343 (KOR・PARK JONGGUL)	335 (CHN・LIN SHAOFENG)	311 (JPN・平仲 浩也)
94kg	346 (KOR・HAN JUNGHUN)	340 (CHN・LI AILONG)	305 (JPN・西岡 翔吾)
105kg	375 (KOR・JUNG HYUNJONG)	305 (JPN・菅野 真央)	
+105kg	355 (KOR・LEE JAESANG)	324 (JPN・野中 雅浩)	

「女子」

階級	1位(国名・選手名)	2位(国名・選手名)	3位(国名・選手名)
48kg	181 (CHN・ZHANG WEN)	144 (JPN・友利 美樹)	140 (KOR・LEE HWAYOUNG)

53kg	188(CHN・LIU KEI)	163(JPN・佐渡山 彩奈)	161(KOR・YOON MINHEE)
58kg	182(KOR・YU WONJU)	160(JPN・柴田 里穂)	
63kg	220(CHN・XING JINGJING)	201(KOR・CHOI JUYOUNG)	183(JPN・小野 さえり)
69kg	194(KOR・LEE JUHEE)	187(JPN・高岸 冨佳)	
75kg	215(KOR・MUN MINHEE)	190(JPN・今永 桃子)	
+75kg	225(KOR・PARK HYEHYUN)	185(JPN・金城 絵里香)	

【日本選手の成績】

「男子」			S1	S2	S3	S順	CJ1	CJ2	CJ3	CJ順	T	T順
56kg級	井出 真輝	(九州国際大学)	93	93	97	②	118	122	126	②	219	②
62kg級	幸地 祥太	(金沢学院大学)	106	106	106	③	125	128	131	③	237	③
69kg級	篠原 航平	(法政大学)	120	120	120	—	147	152	156	③	—	—
77kg級	会津 圭吾	(慶応義塾大学)	125	125	125	③	153	160	160	③	278	③
85kg級	平仲 浩也	(法政大学)	135	140	140	③	165	170	171	③	311	③
94kg級	西岡 翔吾	(明治大学)	125	130	135	③	165	170	175	③	305	③
105kg級	菅野 真央	(早稲田大学)	135	140	140	②	165	170	175	②	305	②
+105kg級	野中 雅浩	(法政大学)	140	140	144	②	175	180	186	②	324	②
48kg級	友利 美樹	(平成国際大学)	60	62	64	②	78	80	82	②	144	②
53kg級	佐渡山 彩奈	(平成国際大学)	68	71	73	③	88	88	90	②	163	②
58kg級	柴田 里穂	(関西大学)	70	73	73	②	90	93	94	②	160	②
63kg級	小野 さえり	(金沢学院大学)	77	80	82	③	100	100	103	③	183	③
69kg級	高岸 冨佳	(早稲田大学大学院)	83	86	86	②	101	104	106	②	187	②
75kg級	今永 桃子	(関西大学)	75	75	83	②	100	107	112	②	190	②
+75kg級	金城 絵里香	(平成国際大学)	80	85	85	②	97	97	100	②	185	②

② 日韓中ジュニア交流競技会

会 期 : 平成27年8月26日・27日
場 所 : 大韓民国济州特別自治道

【国別成績】

男子 階級	第1位	第2位	第3位	第4位
56kg級	中国 250kg	济州 218kg	日本 217kg	韓国 208kg
62kg級	中国 258kg	日本 195kg	济州 190kg	
69kg級	中国 282kg	韓国 272kg	日本 250kg	济州 223kg
77kg級	中国 310kg	韓国 305kg	日本 283kg	
85kg級	中国 330kg	韓国 310kg	日本 261kg	济州 200kg
94kg級	中国 320kg	韓国 300kg	济州 278kg	日本 256kg
105kg級	中国 333kg	韓国 320kg	日本 318kg	
+105kg級	中国 320kg	韓国 312kg	日本 311kg	
女子 階級	第1位	第2位	第3位	第4位
48kg級	中国 169kg	日本 145kg		
53kg級	日本 154kg	中国 147kg		
58kg級	中国 185kg	韓国 175kg	日本 146kg	济州 138kg
63kg級	中国 204kg	韓国 181kg	日本 166kg	济州 133kg
69kg級	中国 205kg	韓国 200kg	日本 180kg	
75kg級	中国 195kg	日本 189kg		
+75kg級	济州 233kg	韓国 213kg	日本 194kg	

【日本選手の成績】

男子 階級	氏 名	学校名	スナッチ			C&J			トータル	順位
56kg級	益子 広幸	(太子清流高)	91	94	97	120	120	123	217	3
62kg級	桑名 慶門	(淡路高)	85	90	95	90	95	100	195	2
69kg級	山根 大地	(小山南高)	110	110	115	135	140	145	250	3
77kg級	原 勇輝	(徳島科学技術高)	123	128	128	155	160	163	283	3
85kg級	小松 幸佑	(松商学園高)	110	114	117	144	147	150	261	3
94kg級	吉岡 直哉	(西彼農業高)	117	120	123	133	133	133	256	4
105kg級	丸本 大翔	(水島工業高)	130	138	142	170	180	180	318	3
+105kg級	川村 正輝	(四日市工業高)	125	131	136	165	170	175	311	3
女子 階級	氏 名	学校名	スナッチ			C&J			トータル	順位
48kg級	森 有理紗	(埼玉栄高)	62	65	67	76	78	80	145	2
53kg級	谷口 莉菜	(鳥羽高)	64	64	64	85	90	94	154	1
58kg級	山村 侑生	(多度津高)	63	63	66	80	83	86	146	3
63kg級	谷口 さつき	(滑川高)	69	73	73	90	93	96	166	3
69kg級	石井 未来	(亀山高)	81	85	89	85	90	95	180	3
75kg級	知念 ひめの	(大阪産大附属高)	78	82	84	95	100	105	189	2
+75kg級	栗野 稚佳子	(柴田高)	84	87	90	104	107	107	194	3

【高校新記録】

階級	氏 名	学校名	C&ジャーク	トータル
105kg級	丸本 大翔	(水島工業高)	180	318

③ 2015年世界選手権大会

会 期 : 平成27年11月20日～28日

場 所 : アメリカ合衆国ヒューストン市

参加国数 : 男子75カ国、323名。 女子72カ国、261名。

【国別成績】

男子 第1位 : RUS 555点/8人	女子 第1位 : CHN 556点/7人
第2位 : BLR 418点/8人	第2位 : RUS 448点/7人
第3位 : KAZ 406点/8人	第3位 : KAZ 423点/7人
第4位 : CHN 373点/8人	第4位 : PRK 397点/6人
第5位 : PRK 365点/6人	第5位 : THA 371点/7人
第6位 : AZE 345点/8人	第6位 : TPE 347点/7人
第7位 : COL 332点/8人	第4位 : COL 278点/6人
第8位 : ARM 282点/6人	第5位 : KOR 241点/7人
第9位 : THA 278点/8人	第6位 : BLR 230点/4人
第10位 : INA 260点/8人	第10位 : JPN 211点/7人

【個人成績】

男子 階級	1位(国名)	2位(国名)	3位(国名)	4位(国名)	5位(国名)	6位(国名)	7位(国名)	8位(国名)	人数
56kg級	302(PRK)	302(CHN)	287(VIE)	282(PHI)	268(COL)	267(KSA)	265(THA)	265(THA)	33人
62kg級	333(CHN)	328(PRK)	317(AZE)	315(COL)	315(COL)	304(INA)	300(PRK)	294(BLR)	47人
69kg級	348(CHN)	344(RUS)	343(TUR)	342(PRK)	333(TUN)	331(AZE)	331(MEX)	326(ALB)	46人
77kg級	372(KAZ)	372(PRK)	363(EGY)	363(ARM)	358(RUS)	357(AZE)	355(CHN)	348(THA)	51人
85kg級	391(RUS)	387(IRI)	380(RUS)	368(UKR)	367(ROU)	363(BLR)	363(ITA)	360(UZB)	37人
94kg級	405(BLR)	402(KAZ)	399(KAZ)	398(BLR)	391(POL)	386(UKR)	381(RUS)	380(IRI)	42人
105kg級	421(KAZ)	411(RUS)	405(LAT)	404(RUS)	402(ARM)	398(POL)	396(UKR)	396(UZB)	35人
+105kg級	475(RUS)	454(GEO)	438(EST)	437(ARM)	436(TPE)	434(BLR)	433(GER)	429(ARM)	33人
女子 階級	1位(国名)	2位(国名)	3位(国名)	4位(国名)	5位(国名)	6位(国名)	7位(国名)	8位(国名)	人数
48kg級	198(CHN)	194(VIE)	193(JPN)	191(PRK)	188(TPE)	188(PRK)	188(KOR)	186(TUR)	39人
53kg級	221(TPE)	221(CHN)	213(PHI)	210(THA)	205(THA)	202(KAZ)	200(UZB)	198(UKR)	39人
58kg級	252(AZE)	245(CHN)	237(TPE)	228(BLR)	227(THA)	221(COL)	217(ECU)	213(JPN)	37人
63kg級	259(CHN)	248(RUS)	243(PRK)	243(UKR)	243(KAZ)	238(TPE)	236(THA)	227(COL)	36人
69kg級	263(CHN)	256(KAZ)	253(RUS)	251(RUS)	251(PRK)	245(EGY)	244(BLR)	243(MGL)	43人
75kg級	282(CHN)	280(PRK)	276(RUS)	276(KAZ)	261(RUS)	257(BLR)	246(COL)	244(USA)	33人
+75kg級	333(RUS)	325(CHN)	298(PRK)	296(THA)	292(KAZ)	279(USA)	273(KOR)	267(KAZ)	34人

【日本選手の成績】

男子 階級	氏 名	所 属 名	スナッチ			C&J			トータル	順位
56kg級	高尾 宏明	(自衛隊体育学校)	108	108	111	134	134	137	248	16
62kg級	糸数 陽一	(警視庁)	126	130	132	158	162	165	294	9
62kg級	中山 陽介	(笛吹市役所)	118	122	125	143	147	149	271	30
69kg級	五百蔵正和	(大阪シティー信用金庫)	132	136	136	163	163	166	302	24
69kg級	笠井 武広	(中央大学)	125	130	130	160	167	167	297	33
105kg級	持田龍之輔	(日本大学)	158	163	167	202	202	208	375	15
105kg級	白石 宏明	(自衛隊体育学校)	157	161	161	200	206	209	366	20
+105kg級	太田 和臣	(九州国際大学職員)	160	---	---	200	---	---	---	---
女子 階級	氏 名	所 属 名	スナッチ			C&J			トータル	順位
48kg級	三宅 宏実	(いりごグループホールディングス(株))	82	85	87	105	108	109	193	3
48kg級	大城みさき	(株)ハーツ&ハーツクリニック)	75	75	77	88	91	91	163	29
53kg級	八木かなえ	(ALSO K)	81	84	84	104	104	107	191	13
58kg級	安藤美希子	(いりごグループホールディングス(株))	90	93	95	120	123	123	213	8
63kg級	吉田 朱音	(金沢学院大学)	88	91	93	110	113	115	206	16
63kg級	松本 潮霞	(ALSO K)	90	90	92	107	110	113	203	19
+75kg級	嶋本 麻美	(金沢学院大学職員)	106	110	110	137	137	137	---	---

【リオデジャネイロオリンピック大会 出場枠獲得国】

男子	順位	国名	2014・2015 得点・得点	合計 得点	出場 枠数	女子	順位	国名	2014・2015 得点・得点	合計 得点	出場 枠数
	1	RUS	141・151	292	6		1	CHN	109・112	221	4
	2	KAZ	140・133	273			2	RUS	102・99	201	
	3	PRK	142・119	261			3	PRK	93・93	186	
	4	BLR	124・124	248			4	KAZ	94・89	183	
	5	CHN	146・100	246			5	THA	94・86	180	
	6	EGY	122・81	203			6	TPE	84・92	176	
	7	INA	107・86	193	5		7	COL	83・74	157	
	8	ARM	87・97	184			8	BLR	69・78	147	
	9	COL	71・107	178			9	JPN	70・64	134	
	10	UZB	106・72	178			10	UKR	73・60	133	
	11	MDA	98・77	175			11	KOR	66・63	129	
	12	IRI	119・54	173	4		12	EGY	63・49	112	
	13	THA	64・90	154			13	VEN	54・58	112	
	14	POL	73・73	146			14	USA	52・57	109	
	15	GER	68・73	141			15	MEX	45・53	98	
	16	AZE	26・111	137			16	TUR	45・49	94	
	17	UKR	41・85	126		3		17	DOM	45・45	90
	18	KOR	64・57	121			18	ECU	37・53	90	
	19	FRA	55・52	107			19	ARM	42・42	84	
	20	VIE	49・47	96	3		20	INA	44・38	82	
	21	GEO	36・59	95			21	ROU	35・45	80	
	22	ROU	30・63	93			22	FRA	38・38	76	
	23	ESP	59・28	87			23	ITA	50・25	75	
	24	TPE	50・35	85			24	IND	27・47	74	
	25	JPN	37・47	84	2		25	POL	35・32	67	
	26	TUR	10・68	78			26	AZE	19・41	60	
	27	USA	47・31	78			27	ESP	45・13	58	
	28	KSA	45・25	70			28	UZB	10・46	56	
	29	HUN	43・22	65			29	GBR	19・30	49	
	30	VEN	17・37	54			30	CAN	40・4	44	

(5) ターゲットエイジ育成強化事業

2020年東京オリンピック競技大会に向けて、ターゲットエイジとしての強化事業を（公財）日本オリンピック委員会の補助事業として実施した。

①ターゲットエイジ合宿

No.	合宿名	指導者数	選手数	期間	場所
1	ターゲットエイジ合宿1（世界ユース選手権大会事前合宿 男女）	4名	6名	4/02～4/05	東京都 NTC
2	ターゲットエイジ合宿2（世界ジュニア選手権大会代表合宿 男女）	6名	11名	4/27～5/06	東京都 NTC
3	ターゲットエイジ合宿3（世界ジュニア選手権大会事前合宿 男女）	5名	12名	5/30～6/06	東京都 NTC
4	ターゲットエイジ合宿4（強化合宿 男女）	5名	15名	8/08～8/16	東京都 NTC
5	ターゲットエイジ合宿5（日韓中ジュニア交流大会事前合宿 男女）	6名	15名	8/20～8/22	岐阜県 可児市
6	ターゲットエイジ合宿6（アジア選手権大会事前合宿 男女）	3名	8名	8/30～9/03	東京都 NTC
7	ターゲットエイジ合宿7（強化合宿 男女）	4名	8名	9/15～9/22	新潟県 津南町
8	ターゲットエイジ合宿8（強化合宿 男女）	4名	15名	1/09～1/17	東京都 NTC
9	ターゲットエイジ合宿9（強化合宿 女子）	5名	12名	2/15～2/24	静岡県 静岡市
10	ターゲットエイジ合宿10（強化合宿 男子）	4名	13名	2/15～2/24	東京都 NTC

No.	合 宿 名	指導者数	選手数	期 間	場 所
11	ターゲットエイジ合宿11(強化合宿 男女)	9名	24名	3/04~ 3/06	東京都 N T C
12	ターゲットエイジ合宿12(強化合宿 男女)	4名	12名	3/13~ 3/21	東京都 N T C

②ターゲットエイジ国際競技会への派遣

2020年に向けて国際競技力向上を目標に、世界ユース選手権大会、世界ジュニア選手権大会及びアジア選手権大会に派遣した。

◎ 世界ユース選手権大会

会 期 : 平成27年4月7日~4月12日

場 所 : ペルー リマ市

参加数 : 男子 28カ国 90名
女子 28カ国 99名

【団体成績】

順位	国名/得点/人数	順位	国名/得点/人数
男子: 第1位	(MEX/441/7)	女子: 第1位	(CHN/395/5)
第2位	(PER/436/8)	第2位	(RUS/385/7)
第3位	(RUS/426/8)	第3位	(USA/342/7)
第4位	(USA/403/8)	第4位	(MEX/335/7)
第5位	(POL/306/5)	第5位	(ECU/331/6)
第6位	(KOR/281/5)	第6位	(PER/308/7)
第7位	(TUR/279/5)	第7位	(COL/300/5)
第8位	(KAZ/259/4)	第8位	(POL/268/5)
第15位	(JPN/164/3)	第19位	(JPN/154/3)

【男子】

階級	1位(国名)	2位(国名)	3位(国名)	4位(国名)	5位(国名)	6位(国名)	7位(国名)	8位(国名)	参加数
50kg級	208(KAZ)	202(VIE)	201(RUS)	184(TUR)	184(ECU)	180(IND)	178(PER)		7人
56kg級	262(CHN)	260(VIE)	230(PER)	229(ECU)	228(VIE)	222(UKR)	221(MEX)	220(KAZ)	18人
62kg級	273(COL)	251(ECU)	251(POL)	250(KOR)	246(IND)	246(IND)	234(MEX)	227(PER)	13人
69kg級	300(CHN)	280(LAT)	278(PER)	274(TUR)	258(MEX)	258(POL)	245(JPN)	245(KAZ)	12人
77kg級	297(COL)	292(GEO)	287(USA)	284(POL)	284(ROU)	278(USA)	275(MEX)	270(POL)	12人
85kg級	316(UKR)	315(COL)	299(KAZ)	295(AUT)	291(MEX)	289(KOR)	280(POL)	259(USA)	9人
94kg級	318(ALG)	307(TPE)	301(USA)	300(EGY)	298(MEX)	289(RUS)	283(RUS)	265(KOR)	11人
+94kg級	338(MEX)	329(RUS)	326(EGY)	303(RUS)	295(HUN)	292(JPN)	280(KOR)	203(PER)	8人

【女子】

階級	1位(国名)	2位(国名)	3位(国名)	4位(国名)	5位(国名)	6位(国名)	7位(国名)	8位(国名)	参加数
44kg級	155(CHN)	146(VIE)	145(BRA)	142(COL)	138(ROU)	135(POL)	124(IND)	120(GBR)	13人
48kg級	160(CHN)	157(BRA)	155(BRA)	152(COL)	150(COL)	149(PER)	146(IND)	143(ROU)	12人
53kg級	185(CHN)	184(LAT)	167(ECU)	163(ROU)	158(RUS)	157(IND)	156(USA)	155(USA)	16人
58kg級	207(THA)	192(KAZ)	192(ESP)	181(RUS)	180(COL)	179(THA)	178(EGY)	177(POL)	20人
63kg級	219(CHN)	209(EGY)	193(UKR)	192(ECU)	185(JPN)	180(RUS)	174(THA)	173(MEX)	14人
69kg級	236(EGY)	213(GBR)	207(CHN)	192(TUR)	188(KOR)	183(ESP)	176(MEX)	172(ALG)	12人
+69kg級	243(KAZ)	239(ECU)	222(KOR)	202(UKR)	194(MEX)	188(MEX)	188(POL)	186(RUS)	12人

【日本選手の成績】

				S1	S2	S3	S順	CJ1	CJ2	CJ3	CJ順	T	T順
「男子」													
69kg級	山根	大地	(小山南高校)	105	105	110	⑦	130	135	138	⑧	245	⑦
77kg級	柳川	友章	(亀山高校)	115	120	123	⑨	130	135	140	⑩	260	⑩
+94kg級	川村	正輝	(四日市工業高校)	118	124	127	⑥	158	165	169	⑦	292	⑥
「女子」													
53kg級	寺島	奈穂	(前橋育英高校)	65	68	68	⑨	81	84	84	⑪	152	⑫
63kg級	石井	未来	(亀山高校)	78	82	85	⑤	96	100	100	⑦	185	⑤
69kg級	戸田	妃乃子	(九州国際大学付属高)	68	72	72	⑪	85	90	90	⑩	162	⑩

◎ 世界ジュニア選手権大会

会 期 : 平成27年6月6日~6月13日

場 所 : ポーランド共和国ヴロツワフ市

参加数 : 男子 37カ国 135名
女子 29カ国 96名

【団体成績】

順位	国名/得点/人数	順位	国名/得点/人数
男子: 第1位	(RUS/481/8)	女子: 第1位	(CHN/480/6)
第2位	(POL/381/8)	第2位	(RUS/385/7)
第3位	(COL/351/6)	第3位	(MEX/370/7)
第4位	(JPN/333/6)	第4位	(TUR/362/7)
第5位	(CHN/321/4)	第5位	(EGY/342/5)

第6位 (TUR/317/8)
 第7位 (KOR/311/7)
 第8位 (USA/276/8)

第6位 (USA/327/7)
 第7位 (UKR/288/6)
 第8位 (POL/280/6)
 第9位 (JPN/273/6)

【男子】

階級	1位(国名)	2位(国名)	3位(国名)	4位(国名)	5位(国名)	6位(国名)	7位(国名)	8位(国名)	参加数
56kg級	276(CHN)	268(THA)	262(ITA)	255(THA)	251(KOR)	243(TUN)	242(ROU)	236(COL)	13人
62kg級	280(PRK)	275(UZB)	267(TUR)	265(COL)	264(IRQ)	261(THA)	258(TUR)	246(POL)	11人
69kg級	338(COL)	329(CHN)	312(PRK)	300(TUR)	299(MEX)	298(JPN)	295(USA)	292(EGY)	22人
77kg級	335(ARM)	332(IRI)	326(ROU)	325(RUS)	325(COL)	315(UZB)	305(GEO)	302(CHI)	25人
85kg級	353(CHN)	352(RUS)	347(ITA)	345(UKR)	341(IRI)	333(ARM)	320(ESP)	317(CAN)	21人
94kg級	374(RUS)	366(UKR)	356(KOR)	355(COL)	340(IRI)	338(ROU)	317(MEX)	315(JPN)	18人
105kg級	381(CHN)	379(RUS)	367(IRI)	360(GEO)	350(ROU)	338(MEX)	330(ESP)	323(POL)	13人
+105kg級	415(RUS)	401(BLR)	375(JPN)	373(JPN)	368(UZB)	367(SRB)	362(RUS)	341(POL)	12人

【女子】

階級	1位(国名)	2位(国名)	3位(国名)	4位(国名)	5位(国名)	6位(国名)	7位(国名)	8位(国名)	参加数
48kg級	205(CHN)	204(CHN)	181(PRK)	165(EGY)	159(MEX)	158(RUS)	157(TUR)	156(RUS)	17人
53kg級	210(CHN)	198(THA)	189(EGY)	188(VIE)	188(COL)	187(LAT)	180(BRA)	180(KAZ)	14人
58kg級	230(THA)	224(CHN)	210(PRK)	207(TPE)	191(MEX)	189(ARG)	188(ESP)	183(KOR)	18人
63kg級	218(CHN)	214(EGY)	212(VIE)	209(MEX)	202(MEX)	202(UKR)	201(USA)	200(TUR)	16人
69kg級	232(EGY)	209(CAN)	196(TUR)	192(JPN)	192(CAN)	191(TPE)	188(TUR)		9人
75kg級	246(RUS)	231(BLR)	224(UKR)	222(RUS)	220(ROU)	201(POL)	201(UKR)	197(USA)	12人
+75kg級	275(KAZ)	259(THA)	251(TUN)	249(EGY)	234(USA)	234(KOR)	219(JPN)	217(GBR)	10人

【日本選手の成績】

「男子」

階級	名前	所属	S1	S2	S3	S順	CJ1	CJ2	CJ3	CJ順	T	T順
56kg級	知念 勇斗	(早稲田大学)	90	90	93	⑩	120	123	127	⑨	216	⑨
69kg級	近内 三孝	(日本大学)	125	130	133	⑦	155	160	165	⑤	298	⑥
69kg級	宮本 昌典	(東京国際大学)	124	124	130	⑭	154	154	157	⑪	278	⑪
94kg級	屋良 一郎	(沖縄国際大学)	135	140	142	⑩	170	175	177	⑧	315	⑧
+105kg級	村上英士朗	(日本大学)	160	165	170	④	190	200	205	④	375	③
+105kg級	知念 光亮	(沖縄国際大学)	165	170	173	⑤	200	200	200	⑥	373	④

「女子」

階級	名前	所属	S1	S2	S3	S順	CJ1	CJ2	CJ3	CJ順	T	T順
48kg級	安嶋 千晶	(早稲田大学)	65	68	70	⑨	84	87	87	⑦	155	⑩
58kg級	造田 愛永	(香川大学)	76	79	79	⑬	93	95	95	⑭	169	⑬
58kg級	新垣 愛恵	(金沢学院大学)	70	73	76	⑮	88	91	94	⑰	167	⑰
63kg級	福里 悠	(東京国際大学)	83	83	83	⑬	98	102	102	⑭	181	⑭
69kg級	柏木 麻希	(早稲田大学)	82	86	86	④	102	106	109	⑤	192	④
+75kg級	嶋本 美愛	(金沢学院大学)	92	92	95	⑨	115	120	124	⑦	219	⑦

【新記録樹立】

・ ジュニア日本記録

69kg級	近内 三孝	(日本大学)	スナッチ 133kg	トータル 293kg	298kg
+105kg級	知念 光亮	(沖縄国際大学)	スナッチ 173kg		

◎ 2015年アジア選手権大会

会期：平成27年9月6日(日)～11日(土)

場所：タイ王国プーケット市

参加国数：男子30カ国、114名。女子19カ国、56名。

【国別成績】

男子	第1位：CHN 516点/8人	女子	第1位：CHN 510点/7人
	第2位：THA 510点/8人		第2位：THA 487点/7人
	第3位：IRI 499点/8人		第3位：PRK 293点/4人
	第4位：KAZ 417点/6人		第4位：KAZ 277点/4人
	第5位：PRK 360点/5人		第5位：KOR 276点/5人
	第6位：TPE 282点/5人		第6位：TPE 263点/4人

【個人成績】

男子	階級	1位(国名)	2位(国名)	3位(国名)	4位(国名)	5位(国名)	6位(国名)	7位(国名)	8位(国名)	人数
	56kg級	274(PHI)	272(VIE)	268(THA)	261(VIE)	242(MAS)	235(IND)	235(SRI)	235(SRI)	9人
	62kg級	313(CHN)	297(PRK)	296(IRI)	285(THA)	275(THA)	271(KGZ)	253(TPE)	252(MAS)	12人
	69kg級	338(PRK)	330(CHN)	329(CHN)	326(KGZ)	326(PRK)	312(KAZ)	311(IRI)	300(MAS)	19人
	77kg級	350(KAZ)	350(PRK)	349(THA)	343(CHN)	342(PRK)	340(THA)	330(IRI)	330(KAZ)	17人
	85kg級	364(KAZ)	363(CHN)	359(KOR)	358(KAZ)	358(CHN)	351(IRQ)	340(IRI)	335(JPN)	17人
	94kg級	383(KAZ)	376(KOR)	376(IRI)	368(CHN)	360(THA)	346(IRI)	332(TPE)	302(JOR)	16人
	105kg級	381(KOR)	363(SYR)	346(JPN)	339(THA)	338(UNB)	333(JPN)	333(IND)	280(SRI)	9人
	+105kg級	438(TPE)	414(IRI)	413(UZB)	385(UZB)	370(SYR)	363(NEP)	失格(QAT)		7人
女子	階級	1位(国名)	2位(国名)	3位(国名)	4位(国名)	5位(国名)	6位(国名)	7位(国名)	8位(国名)	人数
	48kg級	190(VIE)	188(CHN)	187(THA)	186(PRK)	172(KOR)	170(KGZ)	157(JPN)	148(MYA)	10人
	53kg級	214(PHI)	208(PRK)	196(VIE)	196(THA)	179(KOR)	失格(CHN)			6人
	58kg級	226(CHN)	225(THA)	217(KAZ)	213(KAZ)	185(UZB)	182(THA)	171(TKM)	158(UAE)	9人
	63kg級	240(CHN)	233(THA)	229(KAZ)	193(KOR)	184(TPE)	164(TKM)	140(CAM)	108(UAE)	8人

69kg級	247 (CHN)	241 (PRK)	226 (KAZ)	222 (TPE)	217 (KOR)	190 (MYA)	189 (UZB)	179 (TKM)	10人
75kg級	250 (CHN)	227 (TPE)	217 (JPN)	209 (UZB)	143 (BAN)				5人
+75kg級	310 (CHN)	296 (PRK)	295 (THA)	281 (THA)	221 (JPN)	182 (TPE)	166 (NEP)	失格 (KOR)	8人

【日本選手の成績】

男子	階級	氏名	学校名	スナッチ			C&J			トータル	順位
	69kg級	生頼 永人	(早稲田大学)	122	126	130	160	167	167	286	12
	69kg級	白草 翔太	(関西大学)	124	127	127	150	155	155	274	14
	85kg級	山本 俊樹	(ALSO K)	140	145	145	180	190	196	335	8
	105kg級	田中 太郎	(九州国際大学)	148	153	154	187	193	194	346	3
	105kg級	多田 佳弘	(日本大学)	133	138	143	185	185	190	333	6
女子	階級	氏名	学校名	スナッチ			C&J			トータル	順位
	48kg級	柳田 瑞希	(九州国際大学職員)	67	70	70	87	87	90	157	7
	75kg級	神谷 歩	(金沢学院大学職員)	95	95	100	114	117	120	217	3
	+75kg級	今田 千弘	(金沢学院大学)	95	98	101	120	124	124	221	5

(6) コーチ設置事業

公益財団法人日本オリンピック委員会の専任コーチ等設置事業制度を活用し、次の2名の委嘱を受け、味の素ナショナルトレーニングセンター専用施設の有効活用とコーチングの任に当たり成果を得た。

専任コーチングディレクター

N T C 担当 城内 史子

ジュニア担当 播木 豊

(7) ナショナルコーチ・アシスタントナショナルコーチ設置事業

文部科学省の委託を公益財団法人日本オリンピック委員会が受け、「次世代アスリート特別推進事業」のナショナルコーチ等配置を行なうこととなり、配置希望をした結果、次の2名の設置が決定し、目的達成のための活動を行った。

目的 オリンピック競技大会でメダル獲得に向けた中・長期的な強化戦略プランに基づく強化活動全体を統括し推進する。

ナショナルコーチ 小宮山 哲雄 (選手強化本部長 (常務理事))

アシスタントナショナルコーチ 小畑 直之 (選手強化委員)

2. コーチの資質向上事業

(1) 日本体育協会公認指導者資格 (コーチ、指導員) 養成講習会の開催

本年度は、公認コーチ及び指導員の養成講習会 (専門科目) を開催し、指導者が再学習することにより資質の向上と競技者に還元され競技力向上に繋げた。

① 指導員養成講習会

期 日 平成27年9月19日～9月22日

会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

参加者 講師 5名 受講者 18名

内 容

◆基礎理論

- ・指導者の役割と選手との関わり
- ・競技種目の説明
- ・年代別指導法
- ・指導計画の作成とその評価

- ・競技の成り立ちとルール
- ・練習方法とその内容
- ・初心者の指導法
- ・競技大会の概要と競技役員との役割

◆指導実習

- ・スナッチの技術とその習得方法
- ・ジャークの技術とその習得方法
- ・補助種目の練習内容と方法
- ・指導計画の作成

- ・クリーンの技術とその習得方法
- ・スクワットの技術とその習得方法
- ・特性を生かした体力トレーニング
- ・採点制競技会

② コーチ養成講習会 (前期)

期 日 平成27年12月23日～12月25日

会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

参加者 講師 8名 受講者 12名

内 容

◆基礎理論

- ・ウエイトリフティング概論
- ・本競技の技術と構造
- ・特性を生かした体力トレーニング
- ・ルールと審判法

- ・本競技の歴史と国際的動向
- ・ウエイトリフティングの技術
- ・経験差による指導法

◆実技・指導実習

- ・スナッチの基礎技術
- ・競技中の調整法
- ・初心者指導計画の立案

- ・C&ジャークの基礎技術
- ・個人指導と集団指導

③ コーチ養成講習会 (後期)

期 日 平成28年1月9日～1月11日

会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

参加者 講師 8名 受講者 12名
内 容 ◆基礎理論

・年齢別指導法
・指導計画の立案

◆実技・指導実習

・師範技術
・体力トレーニング
・競技における戦術
・指導計画の実施

・戦術論
・技術と構造

・技術の評価と実際
・現場における救急法
・中級者指導計画の立案
・指導計画の評価

(2) 競技者プログラム研修会

ナショナルトレーニングシステム（一貫指導システム）に基づくジュニアユース（中学生～高校1年生対象）研修合宿が全国6ブロックで同一内容で展開することが不可欠である。各ブロックの代表指導者を対象に理念と指導内容の統一を期すために実施した。

期 日 平成27年12月6日～12月7日

会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

参加者 講師 2名 受講者 7名

内 容 ①ナショナルトレーニングシステムについて
②研修合宿の意義とトレーニングプログラム
③総合的体力づくりトレーニング
④会計処理及び注意事項

(3) 全国コーチ研修会

ウエイトリフティング指導者の資質と指導力の向上及び指導者間の情報交換を図ることを目的に開催した。

期 日 平成28年2月13日～2月14日

会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

参加者 講師 5名 受講者 35名

内 容 ①2015年の総括と今後の強化について
②小学生・中学生への競技導入について
③アンチドーピングについて
④スポーツ医科学委員会報告

(4) スポーツ指導者競技別講師全国研修会の開催

公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度の中の、競技別指導者「指導員」を養成する講習会を都道府県単位で実施する時の講師を育成するための研修会を開催した。より多くの指導者を養成するために、日本体育協会の委託事業として開催した。

期 日 平成28年2月20日～2月21日

会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

参加者 講師 5名、助手 1名、受講者 18名

内 容 ・指導者養成講習会における指導内容(1)動作分析と指導方法
・指導者養成講習会における指導内容(2)指導計画
・指導者養成講習会における指導内容(3)ルール・指導者の心構え
・指導者養成講習会における指導内容(4)体力トレーニング
・指導者養成講習会における指導内容(5)初心者への指導方法
・指導者養成講習会における実技指導内容(1)規定2種目、補助種目
・競技者育成プログラム
・アンチドーピング
・怪我の防止と障害への対応
・小学生への導入について（研究協議）

II. 競技者育成事業

1. 研修合宿開催事業

一貫指導システム（ナショナルトレーニングシステム）の理念と方法に基づき、競技者の発掘及び育成を図ることを目的に次の研修合宿を実施した。

ディベロップメントについては、技術解説・指導によりテクニックの改善が見られた。ジュニアスペリオリティは、新しいトレーニング法を積極的に取り組んだ。栄養・アンチドーピング指導では、自立した競技者への動機づけに役立った。

この事業は、スポーツ振興くじ助成事業として助成を受けて開催した。

(1) ディベロップメント研修合宿（中学生・高校1年生）

支部協会に中学生及び高校1年生の優秀競技者の情報提供を依頼し、選手強化委員会の専門グループがセレクションした選手を対象に研修合宿を実施した。

期 間 : 平成27年7月25日～7月28日

場 所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター

指導者 : 11名 参加者 : 30名

内 容 : 実技指導 ・ 2 種目の動作撮影による視覚からのトレーニング
 ・ 2 種目の技術習得のためのトレーニング
 ・ 補助種目の技術とその習得
 講 義 ・ 採点制競技会
 ・ スポーツと栄養 (J I S S 担当者)
 ・ 心理講習会 (J I S S 担当者)
 ・ アンチドーピング (本協会アンチドーピング委員会委員)
 ・ オリンピアン講話 (小口貴久氏「リ्यूージュ」)

(2) ジュニアスペリオリティー研修合宿 (大学生)

期 間 : 平成 2 7 年 9 月 1 4 日 ~ 9 月 1 8 日
 場 所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター
 指導者 : 9 名 参加者 : 3 0 名
 内 容 : 実技指導 ・ 2 種目の能力を高めるためのトレーニングの紹介と実技
 ・ 補助種目の能力を高めるためのトレーニングの紹介と実技
 ・ サーキットトレーニング
 ・ ストレッチと体幹トレーニング
 ・ 走トレーニング
 講 義 ・ スポーツとメンタル (J I S S 担当者)
 ・ 世界の情勢 (選手強化本部長)
 ・ スポーツと栄養 (J I S S 担当者)
 ・ 本競技の英語表現 (本多朝子氏)
 ・ 英会話学習 (J O C)
 ・ アンチドーピング (本協会アンチドーピング委員会委員)
 ・ オリンピアン講話 (大山加奈氏「バレーボール」)

(3) ジュニアユース研修合宿

支部協会よりの優秀競技者の情報及び各種競技会の成績を基に、優秀な中学生及び高校 1 年生を対象に全国を 6 地区に区分して研修合宿を実施した。

内 容 : 実技指導 ・ ウェイトリフティングテストの実施
 ・ 2 種目の正しい技術の習得のトレーニング紹介と実技
 ・ 補助種目の正しい技術の習得のトレーニング紹介と実技
 講 義 ・ スポーツと栄養 (J I S S 担当者)
 ・ アンチドーピング講座 (J A D A 講師及び本協会 A D 委員)

① 北海道・東北

期 間 : 平成 2 7 年 1 2 月 2 3 日 ~ 1 2 月 2 7 日
 場 所 : 宮城県立柴田高等学校
 指導者 : 5 名 参加者 : 1 0 名

② 関東

期 間 : 平成 2 7 年 1 2 月 2 3 日 ~ 1 2 月 2 7 日
 場 所 : 山梨県日川高等学校
 指導者 : 5 名 参加者 : 1 0 名

③ 東海・北信越

期 間 : 平成 2 7 年 1 2 月 2 3 日 ~ 1 2 月 2 7 日
 場 所 : 学校法人金沢学院大学金沢東高等学校
 指導者 : 5 名 参加者 : 1 0 名

④ 近畿

期 間 : 平成 2 7 年 1 2 月 2 3 日 ~ 1 2 月 2 7 日
 場 所 : 奈良県立橿原公苑体育館
 指導者 : 5 名 参加者 : 1 0 名

⑤ 中国・四国

期 間 : 平成 2 7 年 1 2 月 2 2 日 ~ 1 2 月 2 6 日
 場 所 : 愛媛県立新居浜南高等学校
 指導者 : 5 名 参加者 : 1 0 名

⑥ 九州

期 間 : 平成 2 7 年 1 2 月 2 4 日 ~ 1 2 月 2 8 日
 場 所 : 福岡県立八幡中央高等学校
 指導者 : 5 名 参加者 : 1 0 名

(4) ジュニアエリート研修合宿

各種競技会の成績を基に、優秀な高校 2 ・ 3 年生をセレクションし、中央にて研修合宿を実施した。

期 間 : 平成 2 7 年 1 2 月 2 3 日 ~ 1 2 月 2 8 日
 場 所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター
 指導者 : 1 6 名 (講師を含む) 参加者 : 3 1 名
 内 容 : 実技指導 ・ ウェイトリフティングテストの実施
 ・ 2 種目の正しい技術の習得のトレーニング紹介と実技
 ・ 補助種目の正しい技術の習得のトレーニング紹介と実技

- 講 義
- ・ストレッチと体幹トレーニングの方法と実技
 - ・コアトレーニング
 - ・スポーツと栄養 (JISS担当者)
 - ・アンチドーピング講座 (本協会アンチドーピング委員会委員)
 - ・世界の情勢 (選手強化本部長)
 - ・ルールとマナー (選手強化本部長)
 - ・選手の心理 (JISS担当者)
 - ・オリンピック講話 (柴田隆一氏「水泳」)
 - ・オリンピックに出場して (本協会オリンピック)

2. 2020年対策競技者発掘・育成事業支援
 地方で新規事業として競技者発掘・育成を開始する事業について、公募した結果、京都協会より申請があり、つぎのとおり事業を支援した。

事業期間：平成27年4月より平成28年3月までの毎週土曜日（原則）
 場 所：京都府宮津市（京都府立海洋高校ウエイトリフティング場）
 対 象 者：地域の小学生・中学生
 内 容：ウエイトリフティング初心者指導、基礎体力養成、府内大会への出場
 支 援：経済的支援

3. 選手5000人プロジェクト事業
 2020年を目標に、選手（役員を除く）を増やすことにより、競技の振興・選手の発掘
 競技力の向上に繋げるための方策の検討を行った。

III. 振興・教育事業

- ・ 会員の状況
 正会員：48名 名誉会員：10名 賛助会員：114名
- ・ 役員・選手の登録状況

年 度	区 分	役員 役員兼選手	選 手					合 計
			一 般	大 学	高 校	中 学	小 学	
平成23年度	総数	1,256	412	500	1,955	101	20	4,244
	男子	1,179	388	435	1,714	77	15	3,808
	女子	77	24	65	241	24	5	436
平成24年度	総数	1,248	432	504	2,037	93	30	4,344
	男子	1,171	409	432	1,790	72	20	3,894
	女子	77	23	72	247	21	10	450
平成25年度	総数	1,270	401	513	2,043	111	25	4,363
	男子	1,186	378	440	1,762	82	15	3,863
	女子	84	23	73	281	29	11	501
平成26年度	総数	1,267	426	492	2,077	120	29	4,411
	男子	1,181	388	425	1,762	79	16	3,851
	女子	86	38	67	315	41	13	560
平成27年度	総数	1,290	441	521	2,116	147	39	4,554
	男子	1,197	395	446	1,754	68	17	3,877
	女子	93	46	75	362	79	22	677

1. 競技の普及振興

(1) ホームページの充実整備

法人として公開しなければならない情報はもとより、役員・選手のニーズに合わせた内容及び一般のユーザーの要望にも応えられるよう充実整備に努めた。

(2) 情報誌の発刊

スポーツ振興くじの助成を受けて、平成26年度年鑑、会報120号、会報121号、122号を発刊した。主な内容は次のとおり。

年鑑：平成26年度の協会主催競技会及び主要国際大会の成績
 協会組織図、協会役員名簿、加盟団体役員名簿、平成27年度行事計画、賛助
 会員名簿、公認最高記録及び記録樹立表、ランキング表等

会報：平成27年度事業計画、講習会・研修会・合宿等の報告、リオデジャネイロオリンピック競技大会参加枠決定方法、同日本代表選手の選考方法、各委員会報告、大会寸評、ブロック大会以上の競技会及び主要国際大会の成績

(3) 国際スポーツ交流

① 国際情報戦略強化事業における「IF事務局スタッフ派遣支援事業」への申請を文部科学省に行ったところ採択された。スポーツ庁の設置に伴い委託元が変更となった。

・事業内容

派遣者 知念理事
派遣先 ハンガリー共和国ブタペスト市等
派遣期間 平成27年10月1日～平成28年3月31日
事業趣旨 国際ウエイトリフティング連盟（IWF）事務局に派遣し、IWFのDGの補佐として組織・大会運営へ関与させることにより、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の大きなレガシーに繋がる国際大会及び本大会の運営、我が国の競技力向上・普及・役員ポスト獲得を含む本協会組織発展への一助とする。

事業目的及び成果

- ・単なる競技運営にとどまらず、特に若年層に対し魅力的な大会の開催となるための、マーケティング・スポーツプレゼンテーション等のノウハウの学習と獲得。
- ・本協会の将来像・競技の普及を確立するため、上部組織の情報収集とその方策の学習。
- ・日本の競技力向上に対する情報収集。
- ・IWFの人的ネットワークを活用し、2017年のIWF選挙において、理事以上のポジションの獲得のために情報収集。

② 国際会議への参加

IWF及びAWFの会議に代表者を派遣し、情報収集と併せてIWF・AWFとの連携を図るため、次のとおり派遣した。

・IWF技術委員会

期日：平成27年4月5日・6日
場所：ペルー共和国 リマ市
出席者：知念理事

・IWF総会

期日：平成27年6月5日
場所：ポーランド共和国 グロツワフ市
出席者：小池会長、内山常務理事

・IWF技術委員会

期日：平成27年11月16日
場所：アメリカ合衆国 ヒューストン市
出席者：知念理事

・IWF総会

期日：平成27年11月19日
場所：アメリカ合衆国 ヒューストン市
出席者：小池会長、内山常務理事

・AWF理事会

期日：平成27年11月5日
場所：タイ王国 プーケット市
出席者：知念理事

・AWF総会

期日：平成27年11月5日
場所：タイ王国 プーケット市
出席者：小池会長、内山常務理事

③ 国際大会へのテクニカルオフィシャルの派遣

・世界ユース選手権大会

期日：平成27年4月5日～14日
場所：ペルー共和国 リマ市
派遣者：知念理事、岡田常務理事

- ・世界ジュニア選手権大会
期 日 : 平成27年6月4日～16日
場 所 : ポーランド共和国 ヴロツワフ市
派遣者 : 加藤常務理事、中嶋理事
- ・日韓中大会
期 日 : 平成27年6月4日～13日
場 所 : 大韓民国慶尚南道固城郡
派遣者 : 望月群馬県顧問、飯野栃木県理事
- ・アジア選手権大会
期 日 : 平成27年9月3日～12日
場 所 : タイ王国 プーケット市
派遣者 : 加藤常務理事、牛山長野県理事長
- ・世界選手権大会
期 日 : 平成27年11月3日～11月19日
場 所 : アメリカ合衆国 ヒューストン市
派遣者 : 知念理事、

(4) 記録の公認

- ① 競技・競技会規則Ⅷに基づき、日本記録を認定し公表した。

区分 年	男子						女子					
	シニア	ジュニア	大学	高校	中学	マスターズ	シニア	ジュニア	大学	高校	中学	マスターズ
平成23年	4	5	5	7	26	23	17	17	13	20	13	
平成24年	7	0	6	24	9	34	7	8	6	3	11	
平成25年	0	12	3	30	6	50	2	0	4	0	10	23
平成26年	3	25	13	14	10	29	4	2	4	2	18	6
平成27年	3	11	11	17	8	29	5	0	0	3	10	21

(5) 用器具等の検定及び公認

記録競技（重量）であることから、バーベルはじめ用器具が適確でなければならない。本協会器具公認認定規則に基づき、高品質で絶対の安全性と機能性のあることを確認するなかで公認手続きをすすめた。
また、品質保障の観点から器具公認認定規則・同細則の見直しを図り、公認期間を設定することとした。

(6) 顕彰事業

本協会表彰規程に基づき、功労賞、優秀選手賞、優秀指導者賞の表彰を次のとおり行い業績を讃えた。

表彰式：平成28年3月19日（土）

場 所：上野精養軒

① 功労賞（14名）

及川 勝	(岩手県)	現副会長)	第2項第2号該当
角掛 宣夫	(岩手県)	現副会長)	第2項第2号該当
大沼 迪義	(宮城県)	現名誉会長)	第2項第1号該当
田崎 清司	(栃木県)	現理事)	第2項第2号該当
柳澤 天津雄	(群馬県)	現参与)	第2項第2号該当
上野 正雄	(群馬県)	現副会長)	第2項第2号該当
植松 豊	(東京都)	現副会長)	第2項第2号該当
中込 勝利	(山梨県)	現理事)	第2項第2号該当
中野 良吉	(石川県)	現相談役)	第2項第2号該当
池本 茂	(石川県)	現副理事長)	第2項第2号該当
納富 俊行	(兵庫県)	現理事)	第2項第2号該当
橋本 久	(徳島県)	現事務局長)	第2項第2号該当
中曾根 正和	(沖縄県)	現審判長)	第2項第2号該当
又吉 正信	(沖縄県)	現副会長)	第2項第2号該当

② 優秀選手賞（8名）

第3条第3項第1号該当

48kg級	三宅 宏実	(いちごグループホールディングス株式会社)	世界選手権大会	第3位
58kg級	安藤美希子	(いちごグループホールディングス株式会社)	世界選手権大会	第8位

第3条第3項第2号該当

+105kg級	村上英士朗	(日本大学)	世界ジュニア選手権大会	第3位
75kg級	神谷 歩	(金沢学院大学職員)	アジア選手権大会	第3位
105kg級	田中 太郎	(九州国際大学)	アジア選手権大会	第3位

第3条第3項第4号該当

58kg級	安藤美希子	(いちごグループホールディングス株式会社)	S	92kg、93kg、C & J	124kg
			T	213kg、217kg	
+105kg級	太田 和臣	(九州国際大学職員)	C & J	227kg	
56kg級	玉寄 公博	(自衛隊体育学校)	S	117kg	
85kg級	山本 俊樹	(AL SOK)	C & J	197kg	

③優秀指導者賞(6名)

三宅 義行	(埼玉県)	いちごグループホールディングス株式会社	監督	三宅宏実選手、安藤美希子選手の指導
新井 健一	(学生連盟)	日本大学	コーチ	村上英士朗選手の指導者
菊田 三代治	(石川県)	金沢学院大学	監督	神谷 歩選手の指導者
福田 登美男	(福岡県)	九州国際大学	監督	田中太郎選手、太田和臣選手の指導者
堀越 典昭	(埼玉県)	自衛隊体育学校	監督	玉寄公博選手の指導者
山田 政晴	(東京都)	AL SOK	監督	山本俊樹選手の指導者

(7) アンチドーピング活動

スポーツの価値を損ない、フェアプレイの精神に反し、競技者の健康を害する、反社会的行為であるドーピングに対する啓発と検査実施により撲滅に努めた。

① 啓発活動

JADAが作成したドーピング防止ガイドブック(PLAY TRUE)を指導者・選手に配付し情報を提供したこと、文書にて各支部協会に各種情報を伝達した。また、全国高等学校女子選手権大会・全国高等学校選手権大会ではアウト・リーチを、振興くじ助成事業の研修合宿では、JADAの講師と本協会アンチドーピング委員会委員による講習会を実施し啓発を行なった。各種競技会前の監督会議にて注意喚起した。

② ドーピング検査

スポーツ振興くじの助成を受けて、次の競技会検査を実施した。

全日本学生選抜大会	(4月18日～19日)	6検体
全日本選手権大会	(6月12日～14日)	25検体
全日本社会人選手権大会	(11月22日～24日)	5検体
全日本大学対抗選手権大会	(12月18日～20日)	9検体
		計 45検体 (追加分析2検体)

日本体育協会が国民体育大会にて検査を実施した。

国民体育大会 (10月3日～7日)

(8) 審判員の養成と審判講習会の開催

本競技は、判定に対する抗議権がない。判定は公正・公平であり選手に不利益があつてはならない。審判員の資質の向上を目的に次の講習会を開催した。

① ブロック別審判講習会

- ・ 北海道ブロック
 - 期 日 : 平成27年8月15日
 - 会 場 : 士別市総合体育館会議室
 - 参加者数 : 7名
- ・ 東北ブロック
 - 期 日 : 平成27年8月21日
 - 会 場 : 岩手県奥州市江刺中央体育館
 - 参加者数 : 54名
- ・ 関東ブロック
 - 期 日 : 平成27年9月19日
 - 会 場 : 味の素ナショナルトレーニングセンター研修室
 - 参加者数 : 51名
- ・ 北信越ブロック
 - 期 日 : 平成27年8月22日
 - 会 場 : 富山県滑川市総合体育センター
 - 参加者数 : 38名
- ・ 東海ブロック
 - 期 日 : 平成27年8月22日
 - 会 場 : 三重県亀山市亀山高等学校
 - 参加者数 : 20名
- ・ 近畿ブロック
 - 期 日 : 平成27年7月4日
 - 会 場 : 大阪府羽曳野市はびきのコロセラム会議室
 - 参加者数 : 66名

- 中国ブロック
期日 : 平成27年8月22日
会場 : 鳥取県岩美町中央公民館会議室
参加者数 : 9名
- 四国ブロック
期日 : 平成27年8月22日
会場 : 愛媛県新居浜市文化振興会館
参加者数 : 19名
- 九州ブロック
期日 : 平成27年8月21日
会場 : 大分県国東市ホテルベイグランド国東会議室
参加者数 : 31名
- 沖縄県
期日 : 平成27年8月24日
会場 : 沖縄県糸満市スポーツロジ糸満会議室
参加者数 : 12名

② 審判員の審査と認定

公認審判員台帳及び公認審判員名簿の整理と下記の審査認定を行った。

国際審判員の推薦 (認定)			国内審判員の認定			
1級	2級	合計	1級	2級	3級	合計
1名	2名	3名	18名	28名	78名	124名

(9) 創立80周年記念事業の準備

次の要領で実施する記念事業の実行委員会を開催し各種準備を行った。

- 記念事業 : 式典の開催、顕彰、記念史の発刊
- 式典期日 : 平成28年12月4日(日)
- 式典会場 : ホテルメトロポリタン池袋

IV. 大会開催事業及び国際大会開催準備事業

1. 全国大会開催事業

トップレベルの選手育成及び競技の普及振興並びに生涯スポーツ振興のため、以下の全国大会を開催した。

- ① 大会名 : 第12回全日本学生選抜大会
期日 : 平成27年4月18日・4月19日
場所 : 埼玉県上尾市 総合スポーツセンター
内容 : 参加数 (男子 50名、女子 17名)
最優秀選手 (105kg級 持田龍之輔「日本大学」)
優秀選手 (63kg級 小野さえり「金沢学院大学」)
新記録樹立 (大学新記録 5)
- ② 大会名 : 第61回全日本学生個人選手権大会・第27回全日本女子学生選手権大会
期日 : 平成27年5月8日～5月10日
場所 : 大阪府羽曳野市 羽曳野市コロセアム
内容 : 参加数 (男子 72名、女子 15名)
最優秀選手 (男子 77kg級 新垣 悠太「金沢学院大学」)
(女子 63kg級 吉田 朱音「金沢学院大学」)
- ③ 大会名 : 第34回全日本マスターズ選手権大会
期日 : 平成27年5月14日～5月17日
場所 : 秋田県山本郡 三種町琴丘総合体育館
内容 : 参加数 (男子 166名、女子 45名)
新記録樹立 (マスターズ新記録 男子28、女子21)
- ④ 大会名 : 第29回全日本女子・第75回全日本男子選手権大会
期日 : 平成27年6月12日～6月14日
場所 : 福島県いわき市いわき市立総合体育館
内容 : 参加数 (男子 72名、女子 45名)
新記録樹立 (日本新記録6、ジュニア日本新記録1、大学新記録1)
- ⑤ 大会名 : 第17回全国高等学校女子選手権大会
期日 : 平成27年7月19日・7月20日
場所 : 愛媛県新居浜市新居浜南高等学校体育館
内容 : 参加校数 (37都道府県 86校)

団体成績	第1位	鳥羽高等学校	46点	第5位	柴田高等学校	37点
	第2位	滑川高等学校	41点	第6位	塩山高等学校	36点
	第3位	加悦谷高等学校	40点	第7位	第五商業高校	33点
	第4位	金沢学院東高校	38点	第8位	三木東高校	31点

新記録樹立（高校新記録1）

- ⑥ 大会名 : 第62回全国高等学校選手権大会
 会期 : 平成27年8月2日～8月5日
 会場 : 兵庫県明石市明石中央体育館
 内容 : 参加校数（47都道府県、141校、409名）
 団体成績
- | | | | | | |
|-----|----------|-----|-----|--------|-----|
| 第1位 | 四日市工業高校 | 89点 | 第5位 | 松商学園高校 | 37点 |
| 第2位 | 沖縄工業高校 | 65点 | 第6位 | 吉田高校 | 34点 |
| 第3位 | 徳島科学技術高校 | 49点 | 第7位 | 桂高校 | 34点 |
| 第4位 | 水島工業高校 | 47点 | 第8位 | 糸満高校 | 28点 |
- 新記録樹立（高校新記録1）

- ⑦ 大会名 : 第29回全国男子中学生・第14回全国女子中学生選手権大会
 会期 : 平成27年8月19日
 会場 : 福井県若狭東高校体育館
 内容 : 参加数（男子23都道府県41校、女子17都道府県37校）
 新記録樹立（中学新記録6）

- ⑧ 大会名 : 第5回全国都道府県対抗女子選手権大会
 会期 : 平成27年9月5日・9月6日
 会場 : 石川県金沢市いしかわ総合スポーツセンター
 内容 : 参加数（27都道府県127名）
 団体成績
- | | | | | | |
|-----|-----|------|-----|-----|------|
| 第1位 | 京都府 | 127点 | 第5位 | 東京都 | 100点 |
| 第2位 | 沖縄県 | 123点 | 第6位 | 石川県 | 100点 |
| 第3位 | 兵庫県 | 106点 | 第7位 | 富山県 | 75点 |
| 第4位 | 三重県 | 104点 | 第8位 | 愛媛県 | 71点 |

- ⑨ 大会名 : 第70回国民体育大会
 会期 : 平成27年9月27日～10月1日
 会場 : 和歌山県和歌山市片男波公園健康館
 内容 : 参加数 47都道府県 成年男子161名、少年男子140名
 団体成績
- | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| 第1位 | 沖縄県 | 93点 | 第4位 | 三重県 | 76点 |
| 第2位 | 山梨県 | 84点 | 第6位 | 和歌山県 | 65点 |
| 第3位 | 兵庫県 | 81点 | 第7位 | 宮崎県 | 61点 |
| 第4位 | 福島県 | 76点 | 第8位 | 岡山県 | 58点 |
- 新記録樹立（ジュニア日本新記録1、高校新記録4）

- ⑩ 大会名 : 第70回国民体育大会女子イベント事業（国体記念全日本女子選抜大会）
 会期 : 平成27年10月1日
 成績 :
- | 階級 | 選手名 | 所属 | S | C&J | T |
|--------|-----------|-----------|----|-----|-----|
| 53kg級 | 武藤理恵瑠（京都） | 橋立中学校 2年 | 50 | 59 | 109 |
| 69kg級 | 中嶋一馨（石川） | 緑丘中学校 2年 | 69 | 77 | 146 |
| 63kg級 | 石井未来（三重） | 亀山高校 3年 | 81 | 98 | 179 |
| 69kg級 | 柏木麻希（京都） | 早稲田大学 1年 | 90 | 110 | 200 |
| +75kg級 | 嶋本美愛（和歌山） | 金沢学院大学 2年 | -- | 121 | --- |
- 新記録樹立（中学新記録5）

- ⑪ 大会名 : 第60回全日本学生新人選手権大会
 会期 : 平成27年10月23日～10月25日
 会場 : 埼玉県上尾市総合スポーツセンター
 内容 : 参加数（男子50名、女子17名）

- ⑫ 大会名 : 文部科学大臣杯第61回全日本大学対抗選手権大会2部
 会期 : 平成27年11月6日～11月8日
 会場 : 大阪府羽曳野市羽曳野コロセアム
 内容 : 参加数（19大学、106名）
 団体成績
- | | | | | | | |
|------|-----|--------|------|-----|--------|-----|
| 「男子」 | 第1位 | 大阪商業大学 | 130点 | 第5位 | 国土舘大学 | 56点 |
| | 第2位 | 平成国際大学 | 126点 | 第6位 | 近畿大学 | 55点 |
| | 第3位 | 拓殖大学 | 126点 | 第7位 | 立教大学 | 40点 |
| | 第4位 | 立命舘大学 | 111点 | 第8位 | 京都産業大学 | 39点 |

- ⑬ 大会名 : レディースカップ第7回全日本女子選抜選手権大会
 大会期 : 平成27年11月20日・11月21日
 会場 : 岩手県奥州市江刺中央体育館
 内容 : 参加数(一般12支部47名、高校25都府県80名)
 団体成績 「一般の部」 「高校の部」
- | | | | | | |
|-----|---------|-----|-----|--------|-----|
| 第1位 | 金沢学院大学A | 42点 | 第1位 | 鳥羽高校A | 19点 |
| 第2位 | 関西大学 | 28点 | 第2位 | 柴田高校 | 17点 |
| 第3位 | 立命館大学 | 25点 | 第3位 | 亀山高校 | 15点 |
| 第4位 | 金沢学院大学B | 19点 | 第4位 | 三木東高校 | 15点 |
| 第5位 | 自衛隊体育学校 | 18点 | 第5位 | 新居浜南高校 | 14点 |
| 第6位 | 日本体育大学 | 14点 | 第6位 | 小林高校 | 13点 |
- 最優秀選手 63kg級 石井 未来(亀山高校)

- ⑭ 大会名 : 内閣総理大臣杯第52回全日本社会人選手権大会
 大会期 : 平成27年11月22日～11月24日
 会場 : 岩手県奥州市江刺中央体育館
 内容 : 参加数(30都道府県 139名)
 団体成績
- | | | | | | |
|-----|----------|------|-----|-----------|-----|
| 第1位 | 自衛隊体育学校 | 115点 | 第5位 | 琉球倶楽部 | 56点 |
| 第2位 | 警視庁 | 90点 | 第6位 | 大阪府警 | 53点 |
| 第3位 | ロックイーグルス | 73点 | 第7位 | かいじクラブ | 37点 |
| 第4位 | チームめじろん | 69点 | 第8位 | トヨタ自動車(株) | 30点 |
- 最優秀選手 (文部科学大臣賞) 85kg級 山本俊樹 (ALSOK)
 新記録樹立 (日本新記録2)

- ⑮ 大会名 : 文部科学大臣杯第61回全日本大学対抗選手権大会1部
 文部科学大臣杯第16回全日本大学対抗女子選手権大会
 大会期 : 平成27年12月18日～12月20日
 会場 : 埼玉県上尾市 総合スポーツセンター
 内容 : 参加数(男子:10大学 79名、女子:13大学 45名)
 団体成績 「男子」 「女子」
- | | | | | | |
|-----|--------|------|-----|--------|-----|
| 第1位 | 日本大学 | 146点 | 第1位 | 金沢学院大学 | 61点 |
| 第2位 | 法政大学 | 133点 | 第2位 | 平成国際大学 | 46点 |
| 第3位 | 九州国際大学 | 132点 | 第3位 | 立命館大学 | 44点 |
| 第4位 | 早稲田大学 | 85点 | 第4位 | 関西大学 | 43点 |
| 第4位 | 金沢学院大学 | 85点 | 第5位 | 九州国際大学 | 36点 |
| 第6位 | 中央大学 | 72点 | 第6位 | 早稲田大学 | 22点 |
| 第7位 | 日本体育大学 | 70点 | 第7位 | 立教大学 | 18点 |
| 第8位 | 明治大学 | 63点 | 第8位 | 名桜大学 | 11点 |
- 新記録樹立 (大学新記録3)

- ⑯ 大会名 : JOCジュニアオリンピックカップ第36回全日本ジュニア選手権大会
 大会期 : 平成28年3月11日～3月13日
 会場 : 埼玉県上尾市 スポーツ総合センター
 内容 : 参加数(男子:84名、女子:67名)
 JOCジュニアオリンピックカップ授与者
 女子 63kg級 石井 未来(亀山高校)
 男子 69kg級 宮本 昌典(東京国際大学)
 新記録樹立 (大学新記録1、ジュニア日本新記録6、高校新記録3、
 中学新記録11)

- ⑰ 大会名 : 第31回全国高等学校選抜大会
 大会期 : 平成28年3月26日～3月28日
 会場 : 石川県金沢市金沢市総合体育館
 内容 : 参加者数(男子108名、女子63名)
 最優秀選手 48kg級 鈴木 梨羅(松戸国際高校)
 最優秀選手 69kg級 知念 勇樹(関西大学第一高校)

2. 2016年アジアユース・ジュニアウエイトリフティング選手権大会準備事業

- (1) 実行委員会設立の準備委員会の開催
- | | | |
|----------|-------|-------------------------|
| 第1回準備委員会 | 6月20日 | 実行委員会会則(草案)審議 |
| 第2回準備委員会 | 8月08日 | 大会開催概要、収支予算、実行委員会委員編成基準 |
| 第3回準備委員会 | 8月29日 | 設立委員・実行委員会委員編成、AWFとの協定書 |
- (2) 実行委員会設立会議
- 10月19日 実行委員会会則、実行委員会役員及び委員

- (3) 実行委員会第1回総会の開催
10月19日 平成27年度事業計画・予算
- (4) 常任委員会の開催
第1回常任委員会 10月31日 役割分担、今後の計画
第2回準備委員会 12月05日 事業項目毎の分担計画、事業項目の具体的内容
スポーツ振興基金への助成金申請
第3回準備委員会 1月31日 会場レイアウト、各業務の担当者選任
第4回準備委員会 3月05日 競技会運営ソフト、大会予算案、実行委員会総会

3. 2016年マスターズワールドカップ東京大会準備事業

- (1) 実行委員会の開催
第1回実行委員会 10月12日 大会概要、実行委員会編成、予算、今後の準備、役割分担等
第2回実行委員会 11月07日 準備計画、請負業者、委託業務、申込の処理、協賛金の募集等
第3回実行委員会 12月09日 会場レイアウト、各業務毎の担当者、準備日程等
第4回実行委員会 1月09日 会場レイアウト、競技役員・補助役員動静調査、器材借用関係、大会役員編成、準備全般等
第5回実行委員会 2月13日 競技役員・補助役員決定、審判依頼、プログラム・ポスター編成、ボランティアの分担等
第6回実行委員会 3月26日 最終チェック等

V. スポーツ医科学事業

1. スポーツ医科学事業

主な研究は、国立スポーツ科学センターのマルチサポート事業として、リフティングスキルについて、世界選手権大会及び全日本選手権大会を高速ビデオカメラで撮影し、三次元動作分析を行い、ナショナル選手にフィードバックすることと併せて全国指導者講習会で報告した。トータルサポート事業として、栄養及び心理についてを各合宿において講習をとおして、ナショナル選手については個別に評価・サポートを受けた。

スマートシステム（動画配信システム）を運用し、男女ナショナル合宿で活用した。

ミズノスポーツ振興財団の助成を受け、選手のダイナミックアライメントチェックをターゲットエイジ合宿の中で実施し、外傷・障害箇所のチェックと予防ケアのエクササイズの指導を行った。また、全国高等学校選抜大会時にリフターの障害調査を問診票及び観察及び徒手で評価した。若い選手にも多くの障害があることが判明したことから、モニタリングを継続し障害予防の方策の確立に努めることとした。なお、会報122号に調査の報告を掲載した。その他、会報120号に婦人科問題の研究結果、食生活とウエイトコントロールの現状と課題についてを掲載しています。

VI. 会務

本会の目的及び業務を達成するため、次の会議を開催した。

(1) 総会の開催

① 平成27年度定時社員総会

- ・ 日時 平成27年6月20日（土）
- ・ 会場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室
- ・ 議題

- (1) 平成26年度事業報告・決算報告について
- (2) 平成27年度第1次補正予算について
- (3) 平成27・28年度役員の選任について
- (4) 名誉会員の選任について

② 平成27年度臨時社員総会

- ・ 日時 平成28年3月19日（土）
- ・ 会場 上野精養軒 会議室
- ・ 議題

- (1) 平成27年度第2次補正予算について
- (2) 平成28年度事業計画及び予算について
- (3) 名誉会員の選任について

(2) 理事会の開催

① 第1回理事会

- ・ 日時 平成27年5月30日（土）
- ・ 会場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室
- ・ 議題

- (1) 平成27年度定時社員総会について
- (2) 新役員による理事会について
- (3) 2016年アジアユース・ジュニア選手権大会実行委員会について

- (4) リオデジャネイロオリンピック大会テクニカルオフィシャルの推薦について
- (5) 世界選手権大会の選手選考方法について
- (6) リオデジャネイロオリンピック大会の選手選考方法について
- (7) 規程・規則の変更について

② 第2回理事会

- ・ 日 時 平成27年6月20日(土)
- ・ 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室
- ・ 議 題
 - (1) 会長の選任について
 - (2) 副会長・専務理事・常務理事の選任について
 - (3) 事務局長の任命について
 - (4) 各委員会委員長の選出について
 - (5) 選手強化委員会の編成について
 - (6) 他組織の役員への推薦について
 - (7) 関連会議への出席者について
 - (8) 公認審判員の認定について

③ 第3回理事会

- ・ 日 時 平成27年8月29日(土)
- ・ 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室
- ・ 議 題
 - (1) 2016年マスターズワールドカップについて
 - (2) 2016年アジアユース・ジュニア選手権大会について
 - (3) 世界選手権大会選手選考について
 - (4) リオデジャネイロオリンピック大会選手選考方法について
 - (5) 2020年に向けての長期計画について
 - (6) 平成28年度行事開催計画について
 - (7) 規程の整備について
 - (8) アジア連盟からの提案事項について

④ 第4回理事会

- ・ 日 時 平成27年12月23日(水)
- ・ 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室
- ・ 議 題
 - (1) 平成27年度表彰について
 - (2) 平成28年度行事計画について
 - (3) 長期計画について
 - (4) 各種推薦依頼について
 - (5) 協会ロゴについて
 - (6) 公認審判員認定規程の改正について
 - (7) 公認審判員の認定について
 - (8) 2016年国際大会テクニカルオフィシャルの推薦について
 - (9) アンチ・ドーピング規程の変更について

⑤ 第5回理事会

- ・ 日 時 平成28年3月19日(金)
- ・ 会 場 上野精養軒会議室
- ・ 議 題
 - (1) 平成27年度臨時社員総会について
 - (2) リオデジャネイロオリンピック大会選手選考方法について
 - (3) 特定個人情報取扱規程について
 - (4) 公認審判員の認定について
 - (5) 指導者育成委員会内小委員会の設置について

VII. 財政の確立及び長期計画

- (1) 各種事業の推進に、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本体育協会等に対し、助成金・補助金・委託金等の要望・申請を行い、本会の事業実施への充当財源の確保を行った。
 財政基盤確立のため、定款に基づく賛助会員の募集拡大に努めた。また、公益法人認定に伴い、免税募金(寄付金控除等)措置を活用しての募金に努めた。
 協賛企業の開拓を積極的に行い新たに一つの企業と協賛契約を結んだ。
- (2) 2020年に向けて次の計画を策定し万全を期すこととした。
 - ① 目標値を設定してのオリンピック対策特別強化プランを策定し、PDCAサイクルの確認に基づく強化を推進する。
 - ② 5000人対策プロジェクト設置による普及振興策を推進する。

- ③ IWF・AWF役員ポストの確保対策及び国際大会の日本開催による国際発信力、国際大会運営能力等の国際力の強化を図る。
- ④ 組織運営（ガバナンス、コンプライアンスの向上）に努める。
- ⑤ 財政基盤の向上策として、次のカテゴリーを設定し協賛金収入拡大を図る。
 - ・日本代表トップパートナー
 - ・日本代表オフィシャルパートナー
 - ・オフィシャルスポンサー
 - ・大会スポンサー

【附属明細書の作成について】

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成しない。

平成27年度決算報告

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

平成27年度公益社団法人日本ウエイトリフティング協会決算に関する書類

(1) 貸借対照表

平成28年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
	円	円	円
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,281,633	7,112,793	9,168,840
未収金	15,463,302	14,349,646	1,113,656
前払費用	326,225	0	326,225
流動資産合計	32,071,160	21,462,439	10,608,721
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	7,000,652	7,000,652	0
基本財産合計	7,000,652	7,000,652	0
(2) 特定資産			
選手強化特定資産	25,000,000	0	25,000,000
特定資産合計	25,000,000	0	25,000,000
(3) その他の固定資産			
什器備品	10	34	△ 24
ソフトウェア	1,609,250	764,750	844,500
長期前払費用	1,962,360	752,760	1,209,600
その他の固定資産合計	3,571,620	1,517,544	2,054,076
固定資産合計	35,572,272	8,518,196	27,054,076
資産合計	67,643,432	29,980,635	37,662,797
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	0	15,000,000	△ 15,000,000
未払金	9,989,784	6,030,938	3,958,846
預り金	15,657,851	422,773	15,235,078
流動負債合計	25,647,635	21,453,711	4,193,924
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	25,647,635	21,453,711	4,193,924
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金等			
日本オリンピック委員会交付金	25,000,000	0	25,000,000
指定正味財産合計	25,000,000	0	25,000,000
(うち特定資産への充当額)	(25,000,000)	(0)	(25,000,000)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	41,995,797	8,526,924	33,468,873
負債及び正味財産合計	67,643,432	29,980,635	37,662,797

(2) 正味財産増減計算書

平成27年4月1日 から 平成28年3月31日 まで

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	2,604	1,172	1,432
受取会費		3,560,000	50,000
正会員受取会費	2,400,000		
賛助会員受取会費	1,210,000		
その他の受取会費			
受取登録料		17,896,000	424,000
受取役員登録料			
役員登録料	3,328,000		
役員兼選手登録料	6,992,000		
受取選手登録料			
一般選手登録料	2,205,000		
大学生選手登録料	1,563,000		
高校生選手登録料	4,232,000		
事業収益		8,045,700	1,359,500
認定料			
器具認定料	1,743,200		
審判認定料	776,000		
審判更新認定料	3,300,000		
競技規則集等販売料	195,000		
受取負担金等			
受取出版物負担金	480,000		
受取審判講習会負担金	616,000		
受取審判受験料	230,000		
参加者個人負担金	2,065,000		
受取補助金等		82,786,305	31,409,511
日本オリンピック委員会補助金	78,371,674		
スポーツ振興基金助成金	3,029,000		
スポーツ振興くじ助成金	14,746,000		
日本体育協会交付金	625,875		
ミズノスポーツ振興財団助成金	2,000,000		
高知県助成金	91,000		
いわき市助成金	250,000		
受取委託金等			
日本体育協会委託金	1,349,140		
国体実行委員会委託金	1,010,000		
国体女子イベント事業委託金	729,260		
国際情報戦略強化事業委託金	5,499,936		
受取補助金振替額	6,493,931		
受取寄付金		5,880,000	△ 900,000
受取免税募金	4,980,000		
受取負担金		702,000	△ 702,000
受取協賛金		8,040,000	1,776,468
スポンサー協賛金	9,170,000		
その他協賛金	646,468		
受取協力金		0	756,000
協力金	756,000		
雑収益		1,394,843	△ 52,002
受取利息	3,930		
受取広告協賛金	970,000		
雑収益	368,911		
経常収益計	162,428,929	128,306,020	34,122,909
(2) 経常費用			

科 目	当年度	前年度	増減
事業費		117,426,199	28,470,615
給与手当	7,841,597		
法定福利費	709,055		
通勤手当	611,190		
旅費交通費	20,290,258		
旅行雑費	1,274,000		
渡航費	14,897,380		
滞在費	14,768,339		
宿泊費	27,651,117		
雑役務費	17,381,836		
印刷製本費	2,054,658		
通信運搬費	92,704		
会議費	44,730		
検査料	5,369,970		
保険料	779,238		
消耗品費	1,254,715		
調査研究費	1,026,915		
使用料及び賃借料	1,744,846		
使用料及び賃借料（共通）	2,922,719		
諸謝金	8,516,000		
委託費	7,254,504		
助成金	3,000,000		
負担金	2,786,754		
顕彰費	272,484		
式典開催費	600,000		
大会開催費	1,200,000		
大会準備費	92,761		
支払手数料	318,284		
雑費	1,140,760		
管理費		15,997,681	△ 8,015,689
給与手当	2,253,053		
法定福利費	202,326		
通勤手当	174,400		
福利厚生費	100,000		
旅費交通費	113,640		
印刷製本費	494,640		
通信運搬費	984,196		
会議費	43,230		
消耗品費	711,607		
減価償却費	235,524		
使用料及び賃借料（共通）	536,120		
租税公課	79,520		
支払手数料	1,693,864		
雑費	102,746		
修繕費	70,200		
寄付金	186,926		
経常費用計	153,878,806	133,423,880	20,454,926
当期経常増減額	8,550,123	△ 5,117,860	13,667,983
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失			
為替差損	81,250	1,917,631	△ 1,836,381
経常外費用計	81,250	1,917,631	△ 1,836,381
当期経常外増減額	△ 81,250	△ 1,917,631	1,836,381
当期一般正味財産増減額	8,468,873	△ 7,035,491	15,504,364
一般正味財産期首残高	8,526,924	15,562,415	△ 7,035,491

科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産期末残高	16,995,797	8,526,924	8,468,873
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
日本オリンピック委員会交付金	31,493,931	0	31,493,931
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 6,493,931	0	△ 6,493,931
当期指定正味財産増減額	25,000,000	0	25,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	25,000,000	0	25,000,000
III 正味財産期末残高	41,995,797	8,526,924	33,468,873

※前事業年度の数値は、公益認定前及び平成20年公益法人会計基準適用前のものである。

(3) 正味財産増減計算書 内訳表

平成27年4月1日 から 平成28年3月31日 まで

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合 計
	公1 ウエイトリフティング 競技の普及・振興事業				
	円		円	円	円
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用収入			2,604		2,604
受取会費					
正会員受取会費	1,200,000		1,200,000		2,400,000
賛助会員受取会費	1,210,000				1,210,000
その他の受取会費					
受取登録料					
受取役員登録料					
役員登録料	3,328,000				3,328,000
役員兼選手登録料	6,992,000				6,992,000
受取選手登録料					
一般選手登録料	2,205,000				2,205,000
大学生選手登録料	1,563,000				1,563,000
高校生選手登録料	4,232,000				4,232,000
事業収益					
認定料					
器具認定料	1,743,200				1,743,200
審判認定料	776,000				776,000
審判更新認定料	3,300,000				3,300,000
競技規則集等販売料	195,000				195,000
受取負担金等					
受取出版物負担金	480,000				480,000
受取審判講習会負担金	616,000				616,000
受取審判受験料	230,000				230,000
参加者個人負担金	2,065,000				2,065,000
受取補助金等					
日本オリンピック委員会補助金	78,371,674				78,371,674
日本オリンピック委員会交付金					0
スポーツ振興基金助成金	3,029,000				3,029,000
開催市助成金					0
スポーツ振興くじ助成金	14,746,000				14,746,000
日本体育協会交付金	625,875				625,875
ミズノスポーツ振興財団助成金	2,000,000				2,000,000
高知県助成金	91,000				91,000
いわき市助成金	250,000				250,000
受取委託金等					
日本体育協会委託金	1,349,140				1,349,140
国体実行委員会委託金	1,010,000				1,010,000
スポーツ庁委託金					0
国体女子イベント事業委託金	729,260				729,260
国際情報戦略強化事業委託金	5,499,936				5,499,936
受取補助金振替額	6,493,931				6,493,931
受取寄付金					
受取免税募金	2,480,000		2,500,000		4,980,000
受取協賛金					
スポンサー協賛金	4,670,000		4,500,000		9,170,000
大会協賛金					0
その他協賛金	646,468				646,468
受取協力金					
協力金	756,000				756,000
雑収益					
受取利息	3,930				3,930
受取広告協賛金	970,000				970,000
雑収益	368,911				368,911
経常収益計	154,226,325		8,202,604		162,428,929

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合 計
	公1 ウエイトリフティング 競枝の普及・振興事業				
(2) 経常費用					
事業費					
給与手当	7,841,597				7,841,597
法定福利費	709,055				709,055
通勤手当	611,190				611,190
旅費交通費	20,290,258				20,290,258
旅行雑費	1,274,000				1,274,000
渡航費	14,897,380				14,897,380
滞在費	14,768,339				14,768,339
宿泊費	27,651,117				27,651,117
雑役務費	17,381,836				17,381,836
印刷製本費	2,054,658				2,054,658
通信運搬費	92,704				92,704
会議費	44,730				44,730
検査料	5,369,970				5,369,970
保険料	779,238				779,238
消耗品費	1,254,715				1,254,715
調査研究費	1,026,915				1,026,915
使用料及び賃借料	1,744,846				1,744,846
使用料及び賃借料（共通）	2,922,719				2,922,719
諸謝金	8,516,000				8,516,000
委託費	7,254,504				7,254,504
助成金	3,000,000				3,000,000
負担金	2,786,754				2,786,754
顕彰費	272,484				272,484
式典開催費	600,000				600,000
大会開催費	1,200,000				1,200,000
大会準備費	92,761				92,761
支払手数料	318,284				318,284
雑費	1,140,760				1,140,760
管理費					
給与手当			2,253,053		2,253,053
法定福利費			202,326		202,326
通勤手当			174,400		174,400
福利厚生費			100,000		100,000
旅費交通費			113,640		113,640
印刷製本費			494,640		494,640
通信運搬費			984,196		984,196
会議費			43,230		43,230
消耗品費			711,607		711,607
減価償却費			235,524		235,524
使用料及び賃借料（共通）			536,120		536,120
租税公課			79,520		79,520
支払手数料			1,693,864		1,693,864
雑費			102,746		102,746
修繕費			70,200		70,200
寄付金			186,926		186,926
経常費用計	145,896,814		7,981,992		153,878,806
当期経常増減額	8,329,511		220,612		8,550,123
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0		0		0
(2) 経常外費用					
雑損失					
為替差損			81,250		81,250
経常外費用計	0		81,250		81,250
当期経常外増減額	0		△ 81,250		△ 81,250
当期一般正味財産増減額	8,329,511		139,362		8,468,873
一般正味財産期首残高					8,526,924
一般正味財産期末残高					16,995,797

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
	公1 ウエイトリフティング 競技の普及・振興事業			
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
日本オリンピック委員会交付金	31,493,931	0		31,493,931
一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	△ 6,493,931	0		△ 6,493,931
当期指定正味財産増減額	25,000,000	0		25,000,000
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				25,000,000
III 正味財産期末残高				41,995,797

(4) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 平成27年度から「公益法人会計基準」（平成20年4月11日、平成21年10月16日改正、内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

平成19年3月31日以前は旧定額法によっている。平成19年4月1日以降は定額法によっている。

②無形固定資産

ソフトウェアについては、利用期間（5年）に基づく定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の経理処理は、税込方法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	7,000,652	0	0	7,000,652
小 計	7,000,652	0	0	7,000,652
特定資産				
選手強化特定資産	0	25,000,000	0	25,000,000
小 計	0	25,000,000	0	25,000,000
合 計	7,000,652	25,000,000	0	32,000,652

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	7,000,652	(0)	(7,000,652)	(0)
小 計	0	(0)	(0)	(0)
特定資産				
選手強化特定資産	25,000,000	(25,000,000)	(0)	(0)
小 計	25,000,000	(25,000,000)	(0)	(0)
合 計	25,000,000	(25,000,000)	(0)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
什器備品	1,600,318	1,600,308	10
ソフトウェア	2,077,500	468,250	1,609,250
長期前払費用	1,962,360	0	1,962,360
合 計	5,640,178	2,068,558	3,571,620

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
交付金						
指導者育成	日本体育協会	0	625,875	491,938	133,937	現金預金
選手強化関連	日本オリンピック委員会	120,550	31,493,931	6,614,481	25,000,000	指定正味財産
補助金						
選手強化事業	日本オリンピック委員会	0	78,371,674	78,371,674	0	
委託金						
国体役員派遣	和歌山県国体実行委員会	0	1,010,000	1,010,000	0	
国体女子イベント事業	日本体育協会	0	729,260	729,260	0	
講習会等開催	日本体育協会	0	1,349,140	1,349,140	0	
国際情報戦略	スポーツ庁	0	5,499,936	5,499,936	0	
助成金						
競技会開催	日本スポーツ振興センター	0	3,029,000	3,029,000	0	
競技会開催	いわき市	0	250,000	250,000	0	
選手発掘育成	日本スポーツ振興センター	0	9,026,000	9,026,000	0	
アンチドーピング活動	日本スポーツ振興センター	0	4,834,000	4,834,000	0	
スポーツ情報提供	日本スポーツ振興センター	0	886,000	886,000	0	
選手強化事業	ミス/スポーツ振興財団	0	1,000,000	1,000,000	0	
調査研究事業	ミス/スポーツ振興財団	0	1,000,000	1,000,000	0	
選手強化事業	高知県観光コンベンション協会	0	91,000	91,000	0	
合 計		120,550	139,195,816	114,182,429	25,133,937	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高
経常収益への振替額	
当事業年度での目的支出	6,493,931
合 計	6,493,931

8. 引当金の明細

引当金の内訳並びに、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第33条に規定する「重要な固定資産の明細」及び「引当金の明細」は財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書は作成しない。

(5) 財産目録

(単位：円)

平成28年3月31日現在

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	25,931
普通預金	みずほ銀行渋谷支店 No. 0250103 みずほ銀行渋谷支店 No. 1987082 みずほ銀行渋谷支店 No. 3316355 みずほ銀行渋谷支店 No. 9104554 みずほ銀行渋谷支店 No. 9114312	運転資金として	16,255,702
		<現金預金計>	16,281,633
未収金	JOC会計 スポーツ振興券 JOC その他 日本スポーツ振興センター	公益目的事業の収益である。	1,106,546 5,734,000 1,447,295 1,441,461 5,734,000
		<未収金計>	15,463,302
前払費用	マスターズワールドカップ大会費用	公益目的事業の次年度費用である。	326,225
		<前払費用計>	326,225
流動資産合計			32,071,160
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	みずほ銀行渋谷支店 No. 3613503	運用益を法人管理の財源としている。	7,000,652
		<基本財産計>	7,000,652
特定資産			
選手強化特定資産	みずほ銀行渋谷支店 No. 0250103 みずほ銀行渋谷支店 No. 1987082	JOC交付金として受け入れた選手強化資金であり、指定正味財産として管理している。	25,000,000
		<特定資産計>	25,000,000
その他固定資産			
什器備品	パソコンなど、合計10点		10
ソフトウェア	登録管理システムなどソフトウェア2点		1,609,250
長期前払費用	世界ジュニア選手権大会 80年史編纂	公益目的事業の選手権大会及び80年史編纂の費用である。	1,962,360
		<その他の固定資産計>	3,571,620
固定資産合計			35,572,272
資産合計			67,643,432
(流動負債)			
未払金	日本交通公社等に対する未払額	公益目的事業の費用である。	9,989,784
		<未払金計>	9,989,784
預り金	源泉所得税(給与・報酬) 源泉所得税(謝金) その他 財形	職員等他からの預かり分 指導者等他からの預り金 大会開催、協賛金の預かり分 職員等他からの預かり分	139,350 89,327 15,419,174 10,000
		<預り金計>	15,657,851
流動負債合計			25,647,635
(固定負債)			
固定負債合計			0
負債合計			25,647,635
正味財産			41,995,797

貸借対照表総括表
(平成28年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	一般会計	日本ボクシング 委員会補助 事業会計	スポーツ振 興基金助成 事業会計	スポーツ振 興くじ助成 事業会計	指導者育成 事業会計	選手強化キ ャンペーン 会計	内部取引 消去	合 計
I 資産の部								
1. 流動資産								
現金預金	14,602,168	0	0	0	771,423	908,042		16,281,633
未収金	8,276,346	1,447,296	0	5,734,000	0	5,660		15,463,302
前払金	326,225	0	0	0	0			326,225
流動資産合計	23,204,739	1,447,296	0	5,734,000	771,423	913,702	0	32,071,160
2. 固定資産								
(1) 基本財産								
基本財産定期預金	7,000,652	0	0	0	0	0		7,000,652
基本財産合計	7,000,652	0	0	0	0	0		7,000,652
(2) 特定資産								
選手強化特定資産	10,000,000	0	0	0	0	15,000,000		25,000,000
特定資産合計	10,000,000	0	0	0	0	15,000,000		25,000,000
(3) その他の固定資産								
什器備品	9	0	0	0	0	1		10
ソフトウェア	1,609,250	0	0	0	0	0		1,609,250
長期前払費用	752,760	0	0	0	0	1,209,600		1,962,360
その他の固定資産合計	2,362,019	0	0	0	0	1,209,601		3,571,620
固定資産合計	19,362,671	0	0	0	0	16,209,601		35,572,272
資産合計	42,567,410	1,447,296	0	5,734,000	771,423	17,123,303		67,643,432
II 負債の部								
1. 流動負債								
未払金	1,474,888	1,447,296	0	5,734,000	24,000	1,309,600		9,989,784
預り金	15,657,851	0	0	0	0	0		15,657,851
流動負債合計	17,132,739	1,447,296	0	5,734,000	24,000	1,309,600		25,647,635
負債合計	17,132,739	1,447,296	0	5,734,000	24,000	1,309,600		25,647,635
III 正味財産の部								
1. 指定正味財産								
指定正味財産合計	0	0	0	0	0	25,000,000		25,000,000
2. 一般正味財産	25,434,671	0	0	0	747,423	9,186,297		16,995,797
正味財産合計	25,434,671	0	0	0	747,423	15,813,703		41,995,797
負債及び正味財産合計	42,567,410	1,447,296	0	5,734,000	771,423	17,123,303		67,643,432

正味財産増減計算書総括表
(平成28年3月31日現在)

科 目	一般会計	日本ボジック 委員会補助 事業会計	スポーツ振 興基金助成 事業会計	スポーツ振 興くじ助成 事業会計	指導者育成 事業会計	選手強化キ ャンペーン 会計	内部取引 消去	合 計
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	2,604	0	0	0	0	0		2,604
受取会費	3,610,000	0	0	0	0	0		3,610,000
受取登録料	18,320,000	0	0	0	0	0		18,320,000
事業収益	6,074,200	0	620,000	1,210,000	175,000	0		8,079,200
受取補助金等	8,239,196	79,500,605	3,279,000	14,746,000	1,975,015	6,456,000		114,195,816
受取負担金	1,326,000	0	0	0	0	0		1,326,000
受取寄付金	4,980,000	0	0	0	0	0		4,980,000
雑収益	280,915	988	820,185	150,377	280	90,096		1,342,841
受取協賛金	9,816,468							9,816,468
受取協力金	756,000							756,000
他会計からの繰入金収入	11,600,000	5,913,627	1,038,927	2,151,006	0	0	△20,703,560	0
経常収益計	65,005,383	85,415,220	5,758,112	18,257,383	2,150,295	6,546,096	△20,703,560	162,428,929
2. 経常費用								
事業費	19,066,484	85,415,220	5,758,112	18,257,383	1,839,782	3,157,420		133,494,401
管理費	19,591,174				1,296	791,935		20,384,405
他会計への繰出額	8,474,423					12,229,137	△20,703,560	0
JOC会計へ	5,913,627					11,600,000		
Sp課長会計へ	1,038,927					629,137		
Sp課長代会計へ	1,521,869							
経常費用計	47,132,081	85,415,220	5,758,112	18,257,383	1,841,078	16,178,492	△20,703,560	153,878,806
当期経常増減額	17,873,302	0	0	0	309,217	△9,632,396		8,550,123
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用								
雑損失	81,250	0	0	0	0	0		81,250
経常外費用計	81,250	0	0	0	0	0		81,250
当期経常外増減額	△81,250	0	0	0	0	0		△81,250
当期一般正味財産増減額	17,792,052	0	0	0	309,217	△9,632,396		8,468,873
一般正味財産期首残高	7,642,619	0	0	0	438,206	446,099		8,526,924
一般正味財産期末残高	25,434,671	0	0	0	747,423	△9,186,297		16,995,797
II 指定正味財産増減の部								
日本ボジック委員会交付金						31,493,931		31,493,931
一般正味財産への振替額						△6,493,931		△6,493,931
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	25,000,000		25,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	25,000,000		25,000,000
III 正味財産期末残高	25,434,671	0	0	0	747,423	15,813,703		41,995,797

監査報告書

平成28年5月26日

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

会長 小池 百合子 様

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

監事 米田 凖 

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

監事 花見 修 

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

監事 池永 知樹 

私たち監事は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行及び会計の監査を行いました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

理事の業務執行については、理事会に出席し会長及び業務執行理事等から業務状況の報告を受けるとともに、業務執行にかかる重要な関係書類の閲覧を行い業務及び財産の状況等を調査しました。

また、当該年度の計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録にかかる会計帳簿、関係書類についても閲覧、精査を行いました。

2 監査意見

- (1) 事業報告の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 理事の職務執行に関する不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産の状態及び正味財産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

監査報告書

平成28年5月24日

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会
会長 小池 百合子 殿

公認会計士 脇田 伸秀



私は、公益社団法人日本ウエイトリフティング協会に平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度の下記の財務諸表及び収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

記

I 財務諸表

1. 一般会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
2. 日本オリンピック委員会補助事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
3. スポーツ振興基金補助事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
4. スポーツ振興くじ補助事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
5. 指導者育成事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
6. 選手強化キャンペーン会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
7. 貸借対照表総括表
8. 正味財産増減計算書総括表
9. 財産目録

II 収支計算書

1. 一般会計の収支計算書
2. 日本オリンピック委員会補助事業会計の収支計算書
3. スポーツ振興基金補助事業会計の収支計算書
4. スポーツ振興くじ補助事業会計の収支計算書
5. 指導者育成事業会計の収支計算書
6. 選手強化キャンペーン会計の収支計算書
7. 収支計算書総括表

この財務諸表等の作成責任者は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積もりの評価を含め全体として財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠して、公益社団法人日本ウエイトリフティング協会の平成27年度末現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指揮監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、公益社団法人日本ウエイトリフティング協会の平成27年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。